

学生相談室通信

Vo.7 (2022.11)

芸術の秋。数多くの西洋美術作品でギリシャ神話がモチーフにされているのはご存じでしょうか。ギリシャ神話とは古代ギリシャより伝承されている神々や英雄の物語ですが、実は現代を生きる私たちのなかにも彼らは生き続けています。今回は秋ということで、葡萄酒の神である「Dionysus (ディオニュソス)」についてのお話です。

ディオニュソスは酒や葡萄、豊穡の神で、陶醉や酩酊、狂乱、そして魂の再生と解放を司ると言われています。ディオニュソスは葡萄を栽培し、葡萄酒を醸造する術を人々に伝授しながら世界各地を放浪しました。当時の人々はギリシャ神話の神々を崇拝していましたが、秩序、美、高尚さといった模範的な神々が遠い存在であったのに対し、ディオニュソスは葡萄酒という形で人々の不安や和らげ、酔いや喜びを与えてくれる身近な存在でした。特に、女性や奴隷など社会的身分の低い人々にとって、葡萄酒に酔う時間は唯一精神を解き放てる機会だったのでしょう。

ディオニュソスは古い慣習や秩序から解き放つ者とされています。私たちは社会の秩序に則り道徳的に生きることを求められますが、秩序や正しさにあまり固執すると「～すべき」と自分や他者を縛り付けて柔軟性を欠いてしまいます。そんな時はディオニュソスを祝福して精神を解き放つことが必要ですが、ディオニュソスを解き放ち過ぎても自分を破滅させることになってしまいます。秩序や調和を保ちながら、こころの中のディオニュソスも共存できるようにしていくには…。そんなことを考えてみるのも面白いのではないのでしょうか。



ニコラ・プッサン〈バッカス（ディオニュソス）祭り〉プラド美術館
(中央の凱旋車に乗る男性)

誰かに話をしてみたい、聴いてほしい、と思ったときは、
電話（長久手：0561-62-4645／星ヶ丘：052-783-1558）
or フォームから申し込み（QRコードからアクセス）

※電話およびフォームの対応は
平日の9時～17時です。

